

■米国：カリフォルニア州公益事業委員会、PG&E 社の宇宙太陽光発電契約を承認

カリフォルニア州公益事業委員会(PUC)は2009年12月3日、電力大手PG&E社がSolaren社との間で4月に締結していた電力購入契約(15年間)を承認した。これは、太陽光発電設備を宇宙に設置するという米国初の試みである。その仕組みは、Solaren社の太陽電池を周回軌道衛星に設置し、太陽エネルギーを電気エネルギーに変換する。それを高周波に変換して同州フレズノ郡の受信所に無線伝送し、再び電気エネルギーに変換するというものである。運開は2016年を予定している。規制や技術面で多くの課題を抱えるものの、天候に左右されず発電できるメリットがあり、Solaren社は年間17億kWhを発電できると試算している。